

## スタート カリキュラム

## なかよしタイム・わくわくタイム・のんびりタイム 1年生 4~5月

### ねらい

小学校生活へのスムーズな導入

### ポイントと 幼児期とのつながり

・初めから45分間集中することが難しいため、45分を15分ずつに分け、内15分は「あそび」や「探検」を中心とした活動を取り入れ、短い時間でしっかり集中できるように取り組んだ。

### 実践内容

『なかよしタイム』の遊びは、自分たちで決めました。じゃんけん列車、猛獣狩りに行こうよ、ハンカチ落とし、大型オセロなど、遊びを通して、他の園から来た子どもと仲良くなれました。



『わくわくタイム』では、小学校へ入学してすぐの「気になる!」や「行ってみたい!」、「あれ、なあに?」を解決するために探検に行ったり、実際に見に行ったりしました。水道の使い方や、トイレの場所もこの時間に確認に行きました。お気に入り理科室で、人体骨格模型に「ボブ」と名付けて会いに行っていま



『のんびりタイム』は、たくさんがんばった学習の後や、中間休みの後、「もう少し遊びたい…!」という子どもたちの声が上がった時に実施していました。

折り紙、ぬりえ、おえかき、粘土、シールで模様づくり、ルービックキューブなど、1人1人が自由にのびのび過ごしていました。



### 授業を振り返って

「授業の時間、長い～」と家で言っていた子どもたちもいたようですが、遊びの時間を楽しみにしている子どもたちも増えていきました。出身園の違う子同士も自然となかよくなる機会になり、今ではいろいろな友だちができていようで、うれしく思っています。

学校での過ごし方や、休み時間の遊び方、学習の時間に遊びを取り入れることもあり、「勉強が難しい」「発表が怖い…」と感じる子どもたちは少なかったように感じます。